第１回　品川区スポーツ推進計画策定委員会　議事要旨

■日　時　　令和元年８月２日（金）10:30～12:00

■場　所　　品川区役所第二庁舎４階災害対策本部室

■議題

１．開会
２．区挨拶
３．委員紹介
４．議題
（１）品川区スポーツ推進計画の策定について
（２）策定スケジュールについて
（３）調査について
５．その他
６．閉会

■配付資料

資料１　品川区スポーツ推進計画策定委員会設置要綱
資料２　品川区スポーツ推進計画策定委員会委員名簿
資料３　品川区スポーツ推進計画の位置付け（案）
資料４　品川区文化芸術・スポーツ振興ビジョン　概要版
資料５　品川区スポーツ推進計画の策定スケジュール
資料６　一般区民向けアンケート調査の概要（案）
資料７　一般区民向け調査票
資料８　一般区民向け調査の設問（案）
資料９　児童・生徒向けアンケート調査の概要（案）
資料 10　児童・生徒向け調査票
資料 11　児童・生徒向け調査の設問（案）

■参考資料

参考資料１　スポーツ基本法（抜粋）
参考資料２　品川区スポーツ推進計画策定委員会公開基準
参考資料３　品川区スポーツ推進計画策定委員会の傍聴に関する取り扱い要領

■議題（詳細）

１．開会

事務局より配付資料の確認を行った。

２．区挨拶

文化スポーツ振興部である安藤部長より冒頭の挨拶を行った。

３．委員紹介

各委員より自己紹介を行った。また、文化スポーツ振興部である安藤部長より委員長と副委員長の指名を行い、柳沢委員が委員長に、川邊委員が副委員長に就任した。

４．議題

（１）品川区スポーツ推進計画の策定について

事務局より資料３～４に基づき説明を行った。

○品川区文化芸術・スポーツ振興ビジョンの代わりとしてスポーツ推進計画を策定し、文化関連の計画は別で策定するのか。

○以前策定したビジョンの下位計画としてスポーツ推進計画を位置付けたいと考えている。また、補足すると、健康やスポーツ関連の施策はスポーツ以外の部署でも実施されており、今の時点では整理されていない。今後、区が実施している施策や事業を集約し、区民に分かりやすく示していきたいと考えている。

○スポーツの推進にあたり、乳幼児の視点も重要と考えている。当会の委員のメンバーをみると、各ライフステージに関連するメンバーがそろっている。一人の人が一生のうちにどのようにスポーツに携わるのか、ということを考えていけると有意義な会議になるだろう。

○他自治体の計画をみると、ライフステージに応じた施策体系にしている事例もある。学齢期前の子どもや働き盛り世代の人のことも含めて、幅広く検討していきたいと考えている。

○委員就任の資料説明において、品川区に効果が期待できるスポーツ施策を体系的・計画的に実施することを目的とするとあった。手元にある他の資料とどのようにつながるのか教えていただきたい。区民がより多く参加できるようなスポーツの競技種目などの話題が出ると議論しやすいと考えているがいかがか。

○確かに具体的な競技種目を示すとわかりやすいが、本日は計画の全体像を概要で示しており、具体的な競技種目や個々の施策・取り組みを議論する趣旨で資料を示してい

ない。今後、関係各課にどのようなスポーツ施策があるのか調査を依頼するため、次回以降の会議で具体的な施策や取り組みを示したいと考えている。

○計画を策定するにあたり、最終的な目標は立てるのか。例えば、体力スポーツテストの結果を目安にしているケースもある。区民のスポーツもどのくらい広がりをみせたのかなど、そのような目標を掲げるところまで視野に入れていくのか。

○よくあるケースとしては、理念を示すことが多くみられる。その理念を実現するために、関連施策を推進していくことが重要と考えている。まずは区の考え方を示すことが必要で、この場でもお知らせするつもりである。区としての目標と関係課の役割分担も示していきたい。

○到達目標は計画のなかで検討していくこととなるだろう。例えば、国は週1回以上のスポーツ実施率を65%以上、東京都は70%以上と設定している。今後、どこまで細かくするかも含めて検討していきたい。

○スポーツ施設の有効活用について課題があると考えている。品川区スポーツ推進委員として、区民と行政のパイプ役を担う中で、このあたりの内容を計画策定にあたり検討していきたい。

（2）策定スケジュールについて

事務局より資料5に基づき説明を行った。

（3）調査について

事務局より資料6～11に基づき説明を行った。

○スポーツという概念、定義について、自ら身体活動し、競い合いを行う範囲がベースとなっていると考えているが、eスポーツなどが注目されている中で、先生方にスポーツをどのように捉えた方が良いのか、学識の方々から見解をお示しいただきたい。IOCですらeスポーツを考えていくことを視野に入れており、アンケート調査に直接的に関係ないかもしれないが、とても興味深いことである。

○確かにeスポーツの取り扱いは難しい。ただ、一般的にはスポーツに含めない方が良いと考えており、今回の計画の中には含めなくて良いだろう。eスポーツの他にも「ゆるスポーツ」という概念があり、障害者が眼球を動かす行為で遊べるスポーツがある。このような多様な活動をどこまで含めるのかということは非常に難しい。基本的には意図的な身体活動ということ、また健康づくり、介護予防まで含めた身体活動として定義した方が良いだろう。

○障害のある人のことを把握するのであれば、障害の有無を設問に加えた方が良いだろうと考える。また、そうなった時に3,000人ではなく2,000人くらいで十分と思うが、

障害のある方がなかなかサンプルとして確保できないので、もう少し方法を検討した方が良いと考える。

○障害のある方の把握については、方法を検討していきたい。

○児童・生徒向け調査について、健常者に対する調査内容となっている。特別支援学校等の障害のある人に対するアンケート調査も実施できると良いのではないか。また、問4を尋ねる理由は何か。加えて、問7で嫌いな理由を聞いているのであれば、好きな理由も聞いても良いのかと考えている。

○ご意見として取り入れられる部分は委託事業者と相談して検討させていただきたい。また、問4については資料11で示しているねらいの通り、スポーツ実施の有無と子どもの人間的成長の度合いに関連があるかどうかを把握し、関連があると確認できればスポーツ実施の意義を示すことにつながると考えている。クロス集計で活用したい設問である。

○その他、意見があれば配付した意見シートを参考に、FAX かメールで送付いただきたいと考えている。

○障害者のスポーツ実施状況は把握できないのだろうか。もう少し踏み込んで障害のある方に対する調査の実施を検討していただきたい。

○実施方法については別途相談させていただきたい。

○調査は実施するが、方法は検討するということでご理解いただきたい。

5．その他

事務局より次回の会議について説明を行った。

6．閉会

以上